

第4回「川に学ぶ」体験活動全国大会in日野川流域 開催概要

- ▼日時:平成16年8月21日(土)・22日(日)
- ▼全体会場:福井県今庄町 リトリートたくら
〒919-0116 福井県南条郡今庄町古木59-52 TEL0778-45-1310 FAX0778-45-1351
(<http://www.hokuriku.ne.jp/~takura/>)
- ▼主催:第4回「川に学ぶ」体験活動全国大会in日野川流域実行委員会
- ▼共催:日野川流域交流会、川に学ぶ体験活動協議会
- ▼事務局:日野川流域交流会(武生商工会議所内) TEL0778-23-2020 FAX0778-23-4234

▼大会趣旨

川に学ぶ体験活動の理念は、「感動する心を大切にし、川と遊び学ぶ楽しさを伝えます。川への理解を深め、川を大切に作る気持ちを育てます。ゆたかな人間性、心のかよった人と人のつながりを創ります。人と川が共存する文化・社会を創造します。川の力、活動にともなう危険性を理解し、安全へ意識を高めます。」であり、活動を通して、人間性の回復や水環境の保全についての認識を広げることを目的としています。

全国大会は、全国各地の川で活動するNPO法人や市民団体(123団体)によって構成される、「川に学ぶ体験活動協議会(RAC)」の全国大会です。

平成13年度より毎年開催され、川に関わる活動団体の交流、情報交換、新たな体験活動の発見などの活動発表が活発に行われたことで、川に学ぶ体験活動の意義を改めて確認してきました。

平成16年度の本大会は、これまでの運営スタイルであった「民間主導型」から、『川の駅』で構成される日野川流域交流会が主導となる「流域主導型」で運営することになりました。本大会のテーマは「川人(かわど)の共感」とし全国からの参加者が『川の駅』の活動を実際に体験し、参加者自身が共通あるいは特質な課題を抽出、整理、提案することで、真に「川に学ぶ社会」の実現をめざす普遍的方向性を見つけだすこととしています。

▼プログラム(予定)

8月21日(土)

- 10:00 各分科会会場で受付
(全ての分科会会場へJR武生駅よりバスが運行)
- 10:30 分科会スタート
(4つの「川の駅」にてテーマごとに体験活動を流域の方と全国から集まった方で体験を行い、後半の意見交換会につなげる)
- 14:30 分科会毎に意見交換会
- 15:30 移動
- 16:30 各分科会毎に意見発表会
- 18:00 川人の祭典(交流会)
(会場周辺の集落の方による猪鍋等の温かな郷土料理でのおもてなし)

8月22日(日)

- 9:00 ポスターセッション
- 10:00 挨拶 廣部英一(大会実行委員長)
大野重男(RAC代表理事)
坪香 伸(国土交通省河川局河川環境課長)
- 10:30 「緊急企画 福井豪雨における協力活動の実践」
(被災地域の方で且つボランティア活動に従事した方から現場での生の声をお聞きます)
- 11:00 パネルディスカッション(分科会のファシリテーター)
A分科会 高津琴博(NPO法人田んぼの学校越前大野学校長)
B分科会 北川健司(アウトドアサポートシステム代表)
C分科会 千葉よう子(帯広NPO28サポートセンター理事長)
D分科会 平野憲司(番匠川活動支援センター代表)
坪香 伸(国土交通省河川局河川環境課長)

12:20 終了

▼A分科会-(魅力ある川づくり)

「治左川とトミヨを守る会 郷土・伝統のおもてなし」

私たちの生活の中で親しまれてきた治左川は豊富な湧き水に恵まれ、梅花藻が育ち、全国的にも貴重なトミヨ(トゲウオ科)が生息しています。私たちは住民総出でこれらの維持管理を行っています。しかし、湧水量の減少、水質の悪化が近年目立ってきました。

今回は、フィールドワークを通して、皆さんと一緒にこのような課題について考えたいと思います。

当日は、国指定無形文化財「越前万歳」の公演や、森誠一氏(本願清水イトヨの里 館長)によるトゲウオのお話も企画しています。お昼には、この地区で古くから寄り合いでふるまわれている「郷土料理」をご用意いたします。

▼B分科会-(正しく広範な知識・情報の提供)

「田倉川と暮らしの会 文化遺産のおもてなし」

明治28,29年の豪雨によって大災害を受けた赤谷(アカタン)川では、県の砂防事業最初の工事として、子供から大人までが総出で砂防堰堤を造りあげました。それから約100年が過ぎ、田倉の人々から忘れ去られていた堰堤の発見で「アカタン砂防フィールドミュージアム」として蘇りました。そこには、先人たちの川と暮らしの遺産がのこされています。住民と都市住民は今、知恵を出し合い、川に学ぶ常設フィールドとしての活用を始めました。皆さん、一緒に歴史の山道を登ってみませんか。

▼C分科会-(川に学ぶ機会の提供)※受付終了

「ひまわり探偵団&スマイル探偵団 たのしい笑顔のおもてなし」

私たち小学生の子供を持つ母親は、普段子供が好きな「汚い・危ない・うるさい」ことに、つい口出ししがち...

自然体験には子供の大好きがいっぱいあり、親子で楽しく活動しています。

当日は、カヌーやいかだで川下りをしたり、流されてみたり、魚の習性を学んみたりと楽しさが盛りだくさん！大人も子供と一緒に川遊びの体験を通して、全身で自然を感じ考え学びましょう。きっと楽しい発見がいっぱいだよ！

▼D分科会-(主体的、継続的な活動)

「日野川流域交流会推進委員会 スローウォッチングのおもてなし」

流域の活動団体である「川の駅」と行政および専門家によるパートナーシップが形成され、「人と川とのいい関係・サクラマスの駅伝」プロジェクトの成果が、魚道の新設工事につながりました。また、行政と住民の仲立ち役として、河道内樹林伐採整備の合意形成を行いました。

当日は魚や鳥の気持ちになって、これらの成果を皆さんと一緒に、ゆっくりと自転車で遡上しながら検証していきます。

★先の「福井豪雨」で日野川流域でも多大なる被害が発生しています。大会の実行委員の方々もその復旧ボランティアに参加し、災害におけるボランティアの役割について身をもって体験されています。緊急企画として全大会で当水害における協力活動について取り上げ、写真や映像等の展示を行い、会場内で義捐金の募集も行うということになりました。被災地の方からも気兼ねなく積極的に参加してほしいとのメッセージも受け取っています。